

歴史 (History)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	講義	和田善成 (IE2, CA2) 柏倉知秀 (ME2)
【授業の概要】 国際化が進む中で、自国の歴史や文化を習得する必要性が高まっている。これからの国際社会で生きていく上で必要な教養として、日本の歴史について講義する。					
【授業の進め方】 予習として教科書を事前に読んでおくこと。授業中はたくさん板書するので、自分で毎回きちんとノートを取る。復習として『ワークノート』やプリントをしておくこと。課題の提出を求められた場合は、期日までに必ず提出すること。					
【授業の概要】	【授業項目】			【内容】	
1回	オリエンテーション			日本の地理・日本史の時代区分	
2回	国際環境の変化と明治維新			19世紀の日本	
3回	国際環境の変化と明治維新			開国と倒幕	
4回	国際環境の変化と明治維新			明治新政府の諸改革と社会の変化	
5回	国際環境の変化と明治維新			明治初期の外交と反政府運動	
6回	近代国家の成立と国際関係の推移			自由民権運動の展開	
7回	近代国家の成立と国際関係の推移			立憲体制の成立	
8回	近代国家の成立と国際関係の推移			日清戦争と国際関係	
9回	中間試験			上記の内容から出題する	
10回	前期中間試験の解答・解説			試験の解答と解説	
11回	近代国家の成立と国際関係の推移			日露戦争前後の世界と日本	
12回	近代国家の成立と国際関係の推移			日露戦争前後の世界と日本	
13回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			帝国日本と第一次世界大戦	
14回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			帝国日本と第一次世界大戦	
	期末試験			10回～14回の内容から出題する	
15回	解答返却など			試験の解答と解説	
16回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			政党政治と大衆文化	
17回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			政党政治と大衆文化	
18回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			軍国日本への通	
19回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			軍国日本への通	
20回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本			太平洋戦争と日本	

21回	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	太平洋戦争と日本				
22回	現代世界と日本	現代世界の開幕と日本の戦後改革				
23回	中間試験	16回～22回の内容から出題する				
24回	後期中間試験の解答・解説	試験の解答と解説				
25回	現代世界と日本	日本の再建と復興への通				
26回	現代世界と日本	米ソ二極化構造の世界と国内の再編				
27回	現代世界と日本	高度経済成長の時代				
28回	現代世界と日本	低成長から経済大国へ				
29回	現代世界と日本	冷戦の終焉と日本				
	期末試験	25回～29回の内容から出題する				
30回	解答返却など	試験の解答と解説				
<b>【到達目標】</b>	日本史の基礎的知識を習得すること。					
<b>【徳山高専学習・教育目標】</b>	A2	<b>【JABEE基準】</b>				
<b>【評価法】</b>	4回の定期試験の平均点で評価する。別途課題などの提出を求め、加点する場合がある。					
<b>【テキスト】</b>	教科書：『日本史A 現代からの歴史』東京書籍 副教材：『日本史A ワークノート』東京書籍					
<b>【関連科目】</b>	歴史（1年）、政治・経済、倫理、歴史学					
<b>【成績欄】</b>	前期中間試験 【       】	前期末試験 【       】	前期成績 【       】	後期中間試験 【       】	後期末試験 【       】	学年末成績 【       】